

# 特別委員会報告

## 競馬事業調査特別委員会

競馬事業調査特別委員会

を、12月15日に開催し、副市長及び担当職員



岩手県調騎会から厩舎経営について説明

の出席を求め、平成23年度岩手県競馬組合の収支見通しについて調査を行い、更に岩手県調騎会の方

水沢競馬が、12月10日から東日本大震災の災害復旧を経て11ヶ月ぶりに開催され、入場者数、発売額ともに前年度を大きく上回り、岩手競馬の12月12日までの発売額計画達成率も108・6%と好調に推移し、前年比で92・6%まで回復してきています。本年度の収支見通しにおいて、一定の利益が生じる見込みであることから、平成24年1月から3月にかけて投票6次端末等の整備を予定し、勝馬

投票券購入者の利便性の向上等を図り、安定経営に向けて努力することとした。

一方、厩舎経営においては、震災の影響で賞典費が大幅に引き下げられたことにより、馬主からの預託料の引き下げなどがあり大変苦しい状況になっているとのこと

今後、競馬組合の経営状況について、さらに調査の必要があることから、議会閉会中といえども調査したいという提案があり全会一致で承認しました。

## 東日本大震災調査特別委員会

11月14日、12月14日に委員会を開催しました。

11月14日の委員会では、地震被害に係る復旧事業・支援事業の実施状況について、放射能汚染対策について及び一般廃棄物最終処分場



請願第20号を審査する震災特別委員会(12/14)

おける焼却灰埋め立てについて、12月14日の委員会では、付託を受けた請願審査を行い、その後水道水の放射性物質の測定結果について調査しました。また、東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染対策について要望す

# 行政視察報告

## 議会運営委員会

\*視察日：平成23年10月12日、14日

\*視察先：山梨県大月市議会、東京都国立市議会、東京都青梅市議会

視察の調査事項は、3市とも議会改革の取り組み及び議会運営全般についてであります。

大月市議会では、議員定数の適正なあり方について、調査・研究をするため特別委員会を設置し、現行定数18人を3人削減、このことにより、3常任委員会を2常任委員会に、任期1年を2年に、相互の常任委員会を傍聴できるように日程の工夫がなされるなど議員一人ひとりがしっかりと意識を持つ課題に取り組んでおりました。

国立市議会における議員定数の

るため、国に対する意見書の提出について協議しました。  
なお、今後も災害復旧事業の進捗や、放射能汚染に係る対策など、さらに調査の必要があることから、議会閉会中も調査したいという提案があり全会一致で承認しました。



国立市議会

見直しについては、賛成派、反対派の一致点を見出せず、最大会派が中心となり、議員発議により現行定数24人を2人削減する条例改正案が可決されました。その他の取り組みとしては、「一般質問の通告期間の短縮」、「15分以上の暫時休憩時間の傍聴者への説明」、「職員アンケートの実施」などがあります。  
青梅市では、議員又は各会派から提案された検討事項を整理・分類し、議会運営委員会と議会改革推進特別委員会で検討することといたしました。  
改革の具体的内容については、